



令和7年度「スキルアップセミナー②(企画編)」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和7年8月26日(火)～28日(木)

2 日程

8月26日(火)		8月27日(水)		8月28日(木)	
14:00	受付開始	6:30	起床	6:30	起床
14:30	出会いのつどい	7:00	朝のつどい	7:00	朝のつどい
14:50	交流レク	7:20	そうじ	7:20	そうじ
15:40	Being	7:45	朝食	7:45	朝食
16:00	オリエンテーション	8:45	企画会議(4)(5)	8:45	退所点検
16:20	「ちっちゃい探検隊」に ついでの説明	12:00	昼食	9:00	企画会議(9)
17:00	企画会議(1)	13:00	企画会議(6)	10:00	役割決めなど
17:45	夕食	14:30	リフレッシュタイム	11:45	昼食
18:45	企画会議(2)(3)	15:30	企画会議(7)	12:45	振り返り記入
20:30	情報交換会	17:30	夕食	13:15	振り返り発表 (別れのつどい)
21:30	入浴開始	18:30	企画会議(8)	14:00	解散
23:00	消灯	20:30	情報交換会		
		21:30	入浴開始		
		23:00	消灯		

3 ねらい

スキルアップセミナー①(体験編)や本所主催事業及び他施設等でのボランティア経験をもとに、子どもの視点に立ちながら、船上山の豊かな自然や施設設備を生かした1泊2日の企画を立案することを通して、次の目標を達成する。

- ① 互いの考えを伝え合い、より良い企画を創造していく力を身につける。
- ② コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を向上させる。
- ③ 「ちっちゃい探検隊(秋)」実施に向けての意欲を高める。

4 参加者数

16名(島根大学15名 鳥取大学1名)



II 実施状況

今回の「スキルアップセミナー②(企画編)」では、11月1~2日に開催を予定している「ちっちゃい探検隊(秋)」の活動プログラム作りを行った。16名の大学生が熱い議論を交わし、オリジナルの楽しい企画を作り上げていく3日間となった。

8月26日(火)午後に関会。6月に開催した「スキルアップセミナー①(体験編)」から継続参加の学生が過半数を占めており、再会を喜び合う姿も見られた。その一方でこれから始まる企画会議に向けて不安を口にする学生もいた。交流レクリエーションでは、交流を深めながらもちっちゃい探検隊で実施することも想定してポイントをおさえながら取り組む姿があった。続くBeingの時間には、参加者一人一人が今回のスキルアップセミナーにかける目標を他の参加者や指導員に向けて語り、全員で思いを共有することができた。

いよいよ「ちっちゃい探検隊」の企画作りが始まる。参加者たちは、担当の指導員による「ちっちゃい探検隊」についての説明を時折メモも取りながら真剣な眼差しで聴いていた。会議の時間が始まると、4グループに分かれて各自のアイデアをどんどん出し合い、活発に意見交換が行われた。会議では、まず小グループでアイデアをある程度形にし、それを全体の場に持ち寄って1つにするという工程を基本として、3日間で「テーマ」「全体の流れ」「個別の活動内容」を決定していった。当初は全体の場ではぎこちなさもあった。日程後半にさしかかる頃には、昨年度もスキルアップセミナー②に参加した学生が主体となって会議を進めることで、様々な意見が引き出され活発な話し合いが行われていた。

企画会議の合間には「リフレッシュタイム」と称して、河川プールの冷たい水に入って遊んだり、最終日の昼食で流しそうめんを楽しんだりする時間を設けた。こうした時間もまた、参加者たちにとっては心に残る一時となったようである。

3日間を通して、意見がなかなか出ずに話し合いが停滞する、一度決まったかに思えた内容が覆るなど、企画作りが順調に進まない場面も多々あった。そのような時でも、参加者たちは「ちっちゃい探検隊のねらい」に立ち戻りながら、より良い企画を作ろうと知恵を出し合い、11月の「ちっちゃい探検隊(秋)」のプログラムを練り上げていった。



Ⅲ 総括

1 成果

- ・スキルアップセミナー②(企画編)に昨年度も参加した人も初めて参加した人も、それぞれが意見を出し合い、話し合いで上手にまとめ上げて企画を完成までもっていくことができた。
- ・最初は不安そうな顔も多く見られたが、最後の感想では「ちっちゃい探検隊」にもぜひサポーターとして参加したいという声が多かった。
- ・はじめは指導員主導で会議を進めていたが、2日目からは学生主導で話し合いを進めることができていた。
- ・3日間で作り切れなかった物品を持ち帰って完成させたい、などのちっちゃい探検隊(秋)への意欲が高まっている学生が多数いた。



2 課題

- ・企画会議の中で、考えていることが重複していたり、話し合う内容の順番が学生にとって考えにくい順番だったり、企画会議の内容や決める順番などについて検討が必要。
- ・会議の内容をどこまで学生に任せるのか検討が必要。こちらである程度の流れを準備しておくが、学生が話し合いやすい進め方で進行してもらうなど、ある程度柔軟に対応することも必要。
- ・学生からなかなか意見が出てこないときに、どのような手法で話し合いを進めていくのか、学生から意見を引き出すのか指導員の準備が必要。

